

## 令和4年度東京都高等学校新人卓球大会の報告

10月と11月に令和4年度東京都高等学校新人卓球大会が行われました。今年度の高体連主催大会はこの新人大会が最後です。夏休みの練習や練習試合、そして秋の練習試合の成果を発揮することができればと思っておりましたが、野津田高校卓球同好会の1年生2名は持てる力を発揮してくれました。

10月10日（祝）に羽村スポーツセンターで行われたシングルの部では嶋田は惜しくも3回戦敗退でしたが、小林は順調に勝ち進み5回戦進出。5回戦では拝島高校のシード選手に1対3で敗れてしまいましたが、サービスエースやサーブからの3球目攻撃がよく決まりました。

また、11月12日（土）に五日市ファインプラザでダブルスの部が行われました。個人戦では初めてペアを組む小林・嶋田組、1回戦は不戦勝で初戦となった2回戦、昭和第一学園のペアに対して1セット目は動きが硬くなってしまい先取されたものの2セット目から本来の調子を取り戻して3対1で勝利。3回戦は立川のペアに対し、相手のサーブに苦勞して2セット連取されてしまい後が無くなりました。しかし、3セット目を接戦でものにしてから4セット目と5セット目を奪い返して3対2の大逆転勝ち。2人も声も良く出ていて見応えのある試合でした。4回戦は専修大学附属のペアに対して1セット目は相手のサーブに苦しみ先取されたものの2セット目からは落ち着きを取り戻して3対1でこの試合も逆転勝ち。5回戦は東海大菅生のシードペアに対して0対3で負けてしまいましたが、約700組参加の大会で5回戦（ベスト64）まで進出しました。

シングルスもダブルスも決勝大会進出（シングルスはベスト64以上、ダブルスはベスト32以上）を果たすことはできませんでしたが、この大会を通じて何が足りなかったのかを肌で感じ取ることができました。

これから寒い時期がやってきますが、「何も咲かない寒い日は下へ下へと根を伸ばせやがて大きな花が咲く」という言葉があります。この言葉はシドニーオリンピック女子マラソン金メダリスト高橋尚子さんの座右の銘でもありますが、地道な練習を繰り返す行い、上位進出を果たせるように日々鍛えましょう。

9月下旬には駒澤大学高等学校に、11月上旬には東海大学菅生高校に練習試合に行かせてもらいました。ありがとうございました。

### ・令和4年度東京都高等学校新人卓球大会の結果

シングルス 小林 元 5回戦敗退

ダブルス 小林・嶋田 組 5回戦敗退



ダブルス5回戦の様子